

「精華町立中学校における学校給食の実施に向けて」の 意見募集概要について

1. 募集の概要

- (1)募集期間：平成25年7月1日（月）から平成25年8月31日（土）
- (2)募集対象者：精華町に在住、通勤、通学する方
- (3)募集方法：町ホームページに掲載、次の公共施設で資料の閲覧可能
 - ①教育委員会学校教育課、②町立図書館、③町立小・中学校

2. 応募意見の概要

- (1)意見総数：31件
- (2)主な意見の概要

①中学校給食の実施方式

センター方式により3中学校同時に実施する。

- 給食を実施するならば、できる学校から順番にということではなく、食育を軸に据えて、一斉に始められる時期まで十分に準備されるべきではないか。
- センター方式を採用するのであれば、学校給食のみを供給先とするのではなく、他の世代への供給、あるいは、近隣の自治体の学校への供給も検討できないか。
- 配膳にかかる時間等を考えると、カフェテリア方式または、ランチバック（弁当箱）方式にしないと実現しないのではないか。
- センター方式に反対する意見
 - ・子どもたちは、小学校で食べている温かい給食が大好きなので、センター方式には反対する。
- 検討の進め方についての意見
 - ・センター方式と結論が出ていることに疑問を感じる。
 - ・早急にもっと低コストで給食実施できる方法が他にないのか十分な検討を望む。
 - ・自校方式、親子方式について十分に討議されていないのではないか。
 - ・「3中学校同時に実施」を掲げているから事がなかなか進まないのではないか。
 - ・三校のうち、一校でも、二校でも理想に近い給食を低コストで早期に実現してほしい。
 - ・できるところから給食を実施してほしい。

②設置場所

3中学校の施設の現状から、現在改築に向け設計を進めている精華中学校の敷地（現校舎跡地）を利用して給食センターを設置する。

- 給食センターを建設するのであれば、それなりに適した立地や用地を検討してはどうか。
- 隣接の幼稚園の登下園時の安全面が心配。

- 精華中学校建て替えを待つ跡地に建てるということにメリットを感じられない。

③実施時期

精華中学校校舎改築工事の完成後、小中学校への空調設備設置時期との調整を図りながら進める。

- 実施時期を明確に示してほしい。
- 早期の給食実施についての意見
 - ・中学生とその保護者のために、一日も早く安全で栄養バランスのとれた温かい給食を実施してほしい。
 - ・早期に完全給食を実施してほしい。
- 空調設備設置時期との調整についての意見
 - ・空調設備を設置し、学習環境を整えた後、給食実施という方向でも良いのではないか。
 - ・学校での勉強を充実させるには、空調設備設置を早急にしてほしい。

④その他（基本的事項にとらわれないもの）

- 食育に関する意見
 - ・食育指導について、栄養教諭を各校に最低1名配置すべきではないか。
 - ・給食を幅広く生きた学習の機会として活用すべきではないか。
 - ・給食時間をマナー向上や人格形成の場としても最大限に活用できる機会としてほしい。
- アレルギーに関する意見
 - ・新しくセンターを作るのであれば、その施設内に、一般食とは別に調理が行えるようアレルギー対応調理室を設置し、アレルギー除去対応食を提供してほしい。
 - ・該当者や栄養士の先生だけでなく、クラスの生徒達や、担任の先生にも一目で分かりやすく、ダブルチェック、トリプルチェックしやすく、誤配の心配も軽減するようなメニュー成分表（絵で表記するようなもの）を作成してはどうか。
 - ・アレルギーに対する、正しい知識を持ち、相互理解を深め、消防や病院の連携や、協力もいただける体制作りを、一日も早く確立してほしい。
 - ・アレルギー対応を実施する際にも、全ての問題・可能性をクリアできてから実施すべきと考える。
 - ・アレルギー対応について、小学校や保育所での対応策も含めて、今一度自治体としての姿勢を検討されることをお願いしたい。
 - ・アナフィラキシーショックに対しては、日頃よりエピペンの使用承諾を保護者にいただき、手遅れにならないよう予防策を講じるべきではないか。
- 校時に関する意見
 - ・配膳から片付けまでの時間を短縮し、ゆとりある食事とカリキュラムを保つ

ため、リフトを増設し、大型ワゴン折りたたみ式の配膳台などを活用してはどうか。

➤ 給食費未納対策に関する意見

- ・給食費未納問題対策として、それぞれの保護者のメインバンクやそれに順ずる銀行が給食費の引き落とし口座になるよう、銀行の選択肢を増やしてはどうか。

➤ 地産地消に関する意見

- ・地産地消にこだわるならまずは農業の育成が先であり、安定供給が見込めてから給食をスタートする方がよいのではないか。
- ・給食で町内の生産物を食材として使用することで、生徒が町を知るだけでなく、農業の再興などの相乗効果を狙うことができるのではないか。

➤ その他の意見

- ・給食は保温効果の高い食缶やワゴンを取り入れ、冷たいものは保冷剤を活用するなどし、メニューに適した温度でおいしさを保ち、衛生管理を行うべきではないか。
- ・給食は自分でよそい、残食は自分で指定場所に持っていくなど、残食を減らす工夫を取り入れてほしい。
- ・給食未経験の教職員は、小学校などであらかじめ体験し指導を受けるべきではないか。
- ・必要に応じて、給食補助員を配置すべきではないか。
- ・給食実施の際には、内容さえ伴えば民間の参入もよいのではないか。
- ・パートタイマーを有効に採用し、低コストを目指すべきではないか。
- ・完全給食実施までの間、暫定的に斡旋弁当の改善、購買部の増設、近隣の弁当業者との連携を行うなど現状を改善できる策を講じてほしい。
- ・弁当の日を実施することで、弁当・給食のありがたさがわかるのではないか。